

多文化主義と デモクラシー

＝隠された記憶を掘り起こす＝

日時

10月6日～11月10日 (毎週金曜日) *11/3除く
17時00分～18時30分 (開場:16時45分)

開催
方法

会場参加かオンライン参加が選べるハイブリッド開催
●会場: 明治学院大学横浜キャンパス7号館1階711教室
●オンライン: Zoom Webinar

現在、多文化主義の法制度化が進んでおり、多様性の増加を望ましいとする立場が広まっています。しかし、多様性がデモクラシーにとって問題と考える人々も存在します。デモクラシーは、多様性を理解した上での議論を促す仕組みですが、多様性の増加により、理解や議論にはより多くの手間が必要とされます。一部の人々は、この手間に耐えることができず、ヘイトスピーチをはじめ、多様性を切り捨てるポピュリズムの言説を魅力的に感じるようになってきました。セミナーでは、手間をかけない理解や議論がどのように多様性を排除してきたのかを議論する場を提供することで、わたしたちが、排除された多様性の重要性に気づき、手間をかけた理解や議論の価値を改めて評価するようになることを目的として、「隠された記憶を掘り起こす」という課題に取り組みます。

第1回 10/6 孤島のデモクラシー：
(金) 仏領ニューカレドニア・ウヴェア島の生活史から
佐藤 幸男 (富山大学名誉教授)

第2回 10/13 リベラルな多文化主義に未来はあるのか
(金) 飯田 文雄 (神戸大学大学院法学研究科教授)

第3回 10/20 日本にとっての共和国モデル
(金) 中野 裕二 (駒澤大学法学部教授)

第4回 10/27 現代フランスのイスラーム嫌悪：ミドルクラスのムスリムの実践から
(金) 山下 泰幸 (日本学術振興会特別研究員PD<同志社大学>)

第5回 11/10 過去の想起はなぜ必要なのか：多文化主義の観点から
(金) 辻 康夫 (北海道大学大学院法学研究科教授)

〈司会者〉 浪岡 新太郎 (明治学院大学国際学部附属研究所所長)

申込み

- ・会場での参加：不要 (直接ご来場ください・会場定員120名)
- ・オンライン参加：要 (下記 URL よりお申込みください)

https://zoom.us/webinar/register/WN_RBeGoFjBRbCWeOJpGqxssw

*QRコードからもお申込みいただけます →



*参加費無料

= Profile =

佐藤 幸男

さとう・ゆきお

富山大学名誉教授

1948年生まれ。明治大学政治経済学部卒業、明治大学大学院政治経済学研究科修士課程修了。富山大学大学院教育学研究科教授、富山大学大学院人間発達科学研究科教授等を歴任。現在、富山大学名誉教授。早稲田大学平和学研究所招請研究員、広島大学平和センター客員研究員。専門は、第三世界論、アジア太平洋国際関係史。著書に、『世界史のなかの太平洋』（編著、国際書院、1998年）、『<周縁>からの平和学』（編著、昭和堂、2019年）、酒井啓子編『ローカルと世界を結ぶ』<グローバル関係学7>（共著、岩波書店、2020年）など。

飯田 文雄

いいた・ふみお

神戸大学大学院法学研究科教授

1961年生まれ。東京大学法学部卒業。同学部助手、神戸大学法学部助教授を経て現在神戸大学大学院法学研究科教授。ハーバード大学政治学部、オクスフォード大学法学部客員研究員などを歴任。専門は、現代政治理論・西洋政治思想史。主な業績に、『多文化主義の政治学』（編著、法政大学出版局、2020年）、『現代政治理論：新版』（共著、有斐閣、2006年）、アイリス・マリオン・ヤング『正義と差異の政治』（共訳、法政大学出版局、2020年）など。

中野 裕二

なかの・ゆうじ

駒澤大学法学部教授

1963年生まれ。九州大学法学部卒業。九州大学大学院法学研究科博士後期課程修了。博士（法学：九州大学）。現在、駒澤大学法学部教授。専門は、政治社会学。著書に『フランス国家とマイノリティ—共生の「共和制モデル」』（国際書院、1996年）、宮島喬編『移民の社会的統合と排除—問われるフランス的平等』（共著、東京大学出版会、2009年）、『排外主義を問いなおす—フランスにおける排除・差別・参加』（共編著、勁草書房、2015年）など。

山下 泰幸

やました・やすゆき

日本学術振興会特別研究員(PD)

1990年生まれ。京都大学大学院文学研究科博士課程修了。在学中にフランス・パリ第8大学および社会科学高等研究院に留学。博士（文学：京都大学）。現在、日本学術振興会特別研究員(PD)、同志社大学研究開発推進機構研修員。専門は、社会学、地域研究（フランス）、マイノリティ研究、ポストコロニアル研究。著作に「2つのオリエンタリズム—現代フランスのイスラモフォビアと方法論的オリエンタリズム」（平井晶子他編『わたし』から始まる社会学、有斐閣、2023年）、「ミクロな観点における同化とポストコロニアル性—フランスの高学歴なムスリム女性の語りから」（『ソシオロジ』67巻1号、2022年）など。

辻 康夫

つじ・やすお

北海道大学大学院法学研究科教授

1963年生まれ。東京大学法学部卒業、マッギル大学政治学部修士課程修了。現在、北海道大学大学院法学研究科教授、アイヌ先住民研究センター教授。専門は、政治思想・政治理論。著書に、宇野重規編『つながる』<政治の発見：第4巻>（共著、風行社、2010年）、日本移民学会編『移民研究と多文化共生』（共著、御茶の水書房、2011年）、小野紀明他編『主権と自由』<岩波講座政治哲学 第1巻>（共著、岩波書店、2014年）など。

浪岡 新太郎

なみおか・しんたろう

明治学院大学国際学部教授

1971年生まれ。中央大学法学部卒業。フランス国立エクサンプロヴァンス政治学院博士課程満期退学。博士（政治学：立教大学）。現在、明治学院大学国際学部教授、国際学部附属研究所所長。専門は、政治社会学、平和研究。著書に『排外主義を問いなおす—フランスにおける排除・差別・参加』（共編著、勁草書房、2015年）、飯田文雄編『多文化主義の政治学』<サピエンティア59>（共著、法政大学出版局、2020年）、庄司克宏他編『トランスナショナル・ガバナンス』（共著、岩波書店、2021年）など。

= 過去の公開セミナーについて =

*2022年11月～12月
「手間をかける暮らし—デモクラシーを实践する—」

*2023年3月
「原爆と植民地化を経験した街からデモクラシーを考える」

過去の公開セミナーについては、下記をご覧ください。

http://www.meijigakuin.ac.jp/~iism/event_seminar.html



= オンラインでのご参加方法 =

①チラシ表面に書いてある URL または QRコードよりお申し込み いただきますと登録されたメールアドレスに「登録完了メール」が届きます。

②公開セミナー当日、パソコンやタブレット、スマートフォン等で「登録完了メール」に書いてある「参加 URL」をクリックしてご参加ください。

*申し込みは、公開セミナー最終日まで可能です。ご記入いただいた個人情報には本セミナーの実施目的以外には使用いたしません。

= 会場のご案内 =

明治学院大学横浜キャンパス

7号館1階711教室

〒244-8539 横浜市戸塚区上倉田町1518

キャンパス案内 →



最寄り駅：戸塚駅

（JR東海道線・横須賀線・湘南新宿ライン）
（横浜市営地下鉄ブルーライン）

*公共交通機関をご利用ください!!

戸塚駅東口バスターミナル8番乗り場より江ノ電バス「明治学院大学南門」または「平島」行きに乗り、「明治学院大学南門」下車（乗車約12分）